

# 宇都宮商業會議所月報

第百拾貳號

## 稟告

一 商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令  
其他商業の發達を阻害する事情あらは速に其狀  
況并に之に對する御意見等御一報あらんことを  
望む

一 商工業に關し獎勵すべき習慣若くは矯正すべき  
弊習等御認めの場合には細大を御報知あらん  
ことを望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來  
得る限り斡旋盡力すべし若し之れが組織の必要  
を認められたる場合は申出られたし

一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場に  
充つる爲め會議室の使用を望まると向に對して  
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ  
ざる限り其事務をも補助すべし

一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項  
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介  
を得んことを望まると、場合は遠慮なく申出られ  
たし

一 本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演述  
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す

一 本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許  
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議  
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の  
有益なる圖書備付あり商工業者各位の隨時來所  
閱覽あらんことを望む

## 宇都宮商業會議所

一、資本金 壹千万圓 (全額拂込済)

一、諸預金 參千貳百貳拾八萬五千貳百圓餘

宇都宮市大工町四十八番地



合名 安田銀行  
會社 宇都宮支店  
(電話百五十番)

一、本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地  
一、支店出張所 貳拾壹ヶ所  
一、各地送金 無手数料

## 大谷石材販賣

宇都宮市川向町停車場前  
大谷石商會



石材 坂本 仲  
問屋 (電話四〇八番)

光力電燈より光強し

アセチレン瓦斯 石油ニ優  
ル事百倍  
其他機具一式 危険ノ虞  
ニモナシ

御注文ニ應ジ取付其他点燈迄一切請負可申候御  
一報次第店員出張萬事御協議可申候

資本金貳百圓



株式 下野銀行  
會社

下野國宇都宮市大工町

電話 二一三番

東京支店 東京市日本橋區横山町二丁目  
電話浪花 四八八七番

日光支店 下野國日光町  
電話 二〇番

眞岡支店 下野國眞岡町  
電話 一〇番

新石町支店 宇都宮市新石町  
電話 四三〇番



株式 宇都宮銀行  
會社

材木町支店 宇都宮市材木町  
電話 四五〇番

足尾支店 下野國足尾町  
電話 一二二番

足尾出張所 下野國足尾町  
電話 八番

●諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立  
●總テ精々御便利ニ取扱可申候

每 定價部金參錢  
一月 郵寄部金五圓  
發行 廣告料廿二字請  
約 一行金十錢〇特  
約 一行金八錢  
約 一行金六錢

編輯人 荒川 義典  
印刷所 宇都宮市堀町一丁目  
發行所 宇都宮商業會議所  
電話 二五五  
宇都宮一條町七番地  
印刷所 三六五



商會議所の職責と活動

商業會議所は商工業者の利益を代表する機關で其職責は商工業を發達せしめ、其利益を増進せしむるに在る。即ち商業會議所は外に對しては商工業者の意見の存する所を公にして、一國の立法行政を其要求に適合せしめるやうにし、内に對しては法令の委任に據りて個々の行政事務を行ひ、且つ營造物の設置管理等の方法に依つて商工業の利益増進を圖るのである。

▲商業會議所の對外作用 商業會議所は外に對して意見を發表し、要求を爲すから之を商工業者の利益代表機關といふので、其意見は汎く公衆に對し輿論を喚起するがために發表することもあるし又直接政府に對し立法行政に關して要求するため發表することもある。

國の立法行政は實業に關係する部分が非常に多いので、其方針の如何に由つては實業の隆替に至大の影響があるから、立法し行政するには直接の利害關係者たる實業家の要求を無視するを得ざるは勿論のこと、立法行政の局に當るものは實業界輿論の傾向を察し、如何にせば之を發達せしむるを得るか、如何にせば之れが發達を阻害せずして國運の發展を計るを得るか、常に其念頭に置くべきで、是に於て實業家の意見を諮詢するの必要が生ずるのである。是れ商業會議所は獨り商工業に關する立法行政に就て意見を發表するの權限あるばかりでなく、是等の事項に關する政府の諮詢に答ふるの義務ありとせられた所以である。

獨逸などでは重要な立法に就ては汎く商業界の意見を徵するは勿論、商業會議所の推舉其他の方法に依つて選定せられたる實業家の顧問委員が、殆んど行政の各方面に設けられ以て立法行政を經濟の實際に適合せしめ、特に形式に陥り易き官僚を

實業家と接觸せしむるやうな方策を採つて居る。我國でも近時の立法行政は次第に内容の充實に向ひ、政府當局者と實業家との接觸は日に必要を加ふるやうになつて、實業家を網羅する所の各種の諮詢機關が設けられ、一面に重要な立法行政事項に就ては商業會議所の意見を徵せらるゝやうになつた。是に於て商業會議所は商工業者の利益代表者として、益々重要な地位を占むるに至つたのである。

▲商業會議所の對内作用 此の如く商業會議所は商工業者の利益代表機關として、外に對して其意見を發表するばかりでなく、内に對しては商工業の利益を増進する行政を爲すものである。其行政は商業會議所法其他の法令に據り指定せられた數多の特別事項を含むけれども、此獨立なる法規制定以外の手段、就中營造物の設置管理等の手段に由つて汎く商工業の利益を増進するの事務を行ふことも出来るのである。法令の委任に由り行ふべき特別の事項は、商工業の状況及統計の調査、商品の證明、鑑定人参考人の推薦、紛議の仲裁等が其主なるもので、過般政府の公表せられた不正競争法案では、不正競争に對する訴訟の權限をも與へらるゝことになつて居る。

▲商業會議所の活動 商業會議所の爲すべき職分は前二項に略述した通りで、其任務の第一眼目とすべきは商工業の發達を圖るに必要な方策を調査するに在るは勿論であるが、其事業としては工藝品展覽會の開設、優良品に對する授賞、商品陳列所の設置、各種の實業學校就中徒弟學校の設置講習會の開設、圖案の調製、圖書覽覽所、工業試驗所の設置等諸般の營造物の設置管理から、商業使用人の獎勵等に至るまで随分爲すべきことは多々あるのである。

成績を擧ぐるに就て第一先に立つものは經費である。之れがなければ何事もひかへねばならず隨て其成績も擧らぬ道理である。過去現在に於ける商業會議所は何れも此の經費の點に非常な困難を感じて居る。思ふやうに活動の出來ぬのも主として此に原因するのである。成る程商業會議所は未だ幼稚であるから其活動に不充分の點のあるは吾人も亦之を認むる。けれども現在の商業會議所でも決して世間から漫罵をあびせかけらるゝやうに左様に無用の長物ではないと思ふ。或は世間に於ては商業會議所の爲すべき仕事の範圍が非常に廣く、且多いのを見て、あれもやれそうなものだ是れもやれそうものだと要求するのが多過ぎるのではあるまいか、それは此經費の不如意の商業會議所に向つては重荷過ぎる無理な要求である。成る程商業會議所の活動は不充分で非難すべき點もあらう、併しながら我商業會議所が日露戰役後財政漸く膨大し、國民の負擔益々苛重ならんとするに際し商工業者の利害を代表して猛烈として起ち、財政の緊縮、三税(塩專賣物稅通行稅)廢止稅制の根本的整理の必要を唱ひて以來、着々其効果を收めつゝあるが如き、租稅の誅求漸く激烈ならんとするに際し納稅者の擁護に努めたるが如き又日米國際關係の阻隔せんとするや之れが親和を圖り顯著なる効果を收めたるが如き等、財政に、經濟に、教育に、將た交通政策に、或は個々の商業會議所として、或は商業會議所聯合會として最近數ふるに足るの活動も蓋し少くはないと思ふ。

今日立法行政の上に商工業者の意見が少なからず採用せられて居るのは確かな事實であるが、それは商工業者の利益代表機關たる此商業會議所がある爲めだと言つても過言ではあるまい。若し之を無きものとしたならば、立法行政に商工業者の意見の影響は甚だ微弱なものであらう。然らば今後

て見れば、悉く勞働効程の増進に歸一すと謂ふてよいからである。而して勞働者の改良向上を圖るの途も亦種々あらう、けれども其根本的にして有効なのは勞働者をして無限の希望を以て自己の從事する職業に全生命を托せしめ全努力を傾倒せしむるにあるや言を俟たない。而して勞働者にかゝる大衝動を與ふるに何物よりも優つて有効なのは、實に社會的に金錢上に其待遇を上進せしむるに在る。若し此一事が社會の要求に應じて遂行することが出來たならば、其國民の富は駭々として發達し底止する所があるまいと思ふ。

商工業者は其利益の擁護上、此商業會議所の完全なる發達を遂げしめ益々有力なものとしなければならぬ筈である。然るに商工業者にして此商業會議所の無用呼りをなす者もあるやうであるがそれは實に一を知つて二を知らざる淺薄なる了見と謂はねばならぬ。若し此商業會議所を無きものとしたならば商工業者は如何にして立法行政上に自己の意見を通さんとするか、既往は兎も角今後に於ける國民は政治に無關係で行かれるものでない。商工業者は商工業者としての立場より、立法行政の上如何に其意見を貫かなければならぬ必要は是から益々多くなるのである。それには個々の力では駄目だ、團體の力に依らなければならぬ、然らば商工業者の利益を代表する商業會議所は必要ならぬ必要であつて、決して不必要だなど、謂はれる筈がないではないか、今後商業會議所は益々重要な機關なのである。

只其活動が鈍いといふ批難ならば吾人も今日の商業會議所が決して充分なる活動を爲して居るとは思はない。缺點も多々あらう、働も足るまい、此點に就ては一般商工業者と共に充分活動するやうに其方法を講じたいものであると思ふ。先づこれに就て吾人の希望を述べらるれば、第一團體の活動は人物が其中心となるのであるから、之れが主體となる所の議員其人を得なければならぬ。故に議員選舉の際には充分候補者として熱心にして働きたる人物を選択するやうに注意せられたるべきである。第二に商業會議所活動の鈍いといふに就ては勿論會頭以下其内部を組織するもの、責任ではあるが、會議所は會議所として充分なる働きが出来るものではない、一般商工業が之に助力し之を利用し、外部より之を活動せしむるのでなければ其働きを完ふせらるべきでない。依て商工業者は會議所より調査の依頼あらば速かに之を仕上

げ、問題あらば提供し、會議所の力に倚るべき必要あらば之れに依頼するやうにせられたるものである。斯くて内外相應じて此機關の運用に努め始めて完備なる成績を擧げ得るのである。商業會議所は商工業者を離れ超然として立つ所の御役所のものではない。會議所議員の選舉權を有する商工業者は其組織の一員である、其活動の鈍き點に就ては全く無關係ではない之れを充分に働かし公共の利益を増進するやうにしなければならぬのである。徒らに批難すべきでない。問題あらば提供して共に研究し、商工業の改良發達を圖るべきである。問題を提供するも之を其力に應じて適當に解決することが出來ぬやうならば、それを其の無用の長物で如何に批難せらるゝも致方はないのである。

何れの商業會議所も商業會議所は商業會議所として經費の容す範圍に於て出來るだけ働きたる、あるのである併し自分の一尺人の一寸といふやうな譯であるから外部からごし、刺撃を與へるのは最も必要なことで又望ましいことである。けれども徒らに活動しない眠つて居ると批難せらるるのみで、之を活動せしむるやうに仕向けられないのは如何なる人の言であれは空言で何の役にたたないばかりか却つて害があるのである。(完)

國富増進と勞働尊重

國富を増進する積極的方策は固より多種多様であるけれども、國富の開發生産に直接に従事し活動する勞働者の品質の改良向上を圖るより急なるものはない。何となれば人生一切の活動は要するに生産と享樂との二種に包括することが出來、而して政治といひ、道德といひ、はた機械といひ、發明といひ、組織といひ、科學工藝といひ推しつめ

今日の經濟組織に於て勞働者は單に自己の勞働を賣つて賃錢に換へつゝあるに過ぎないので、實際事業經營の任に當るものは實に資本家及企業家であるから、事業の盛衰を支配し勞働者の運命を掌握する所の此資本家及企業家が聰明優秀でなければ、國富の増進を大ならしむることは得て期すべきでない。而して之を優秀ならしむるの途は種々あり、けれども要するに資本家をして放下資本を安全に保護し得るの法を備へしめ、企業者をして其能力を傾倒せしめ得るが如き仕懸けを充分に立つる外はありまい。

願ひて我國の實況を見るに此點に於て頗る缺くる所があるのは大に遺憾である。然らば如何にして



之を匡救することが出来やうか、他では無い資本家が其投資に對して自から直接に之れが安全を保護すると同時に、他の一方に經營の才幹に富める者を擯んで、其人に充分の高給を拂ふて其營業に全能力を盡さしむるの組織を採るに在る。自己の財産は自己がその保管の任に當るより確實なるはなく、使用人に對しては使用人の利害心に訴へて其忠實なる活動を買ふより良策はないのである。而して其方法は事業主なる資本家が有力にして、堅實なる重役團を組織し直接事業經營の監督に任ずるのが其第一で、其目的は言ふまでもなく營業の方針を定め、放資の安全を保護するのを專一とし決して俸給の取得を目的とすべきでない、かくて一定の方針の下に使用人に營業の大なる權能を託すると同時に、有爲有能の士が好んで其位置に就き、其全才力を傾倒せしむるに足る程の高給を拂ふて其人を優遇するのが其二である。そして使用人は單に機械的に重役の意思命令を奉行する手足にでなく、實に其事業の盛衰を負擔する營業本部並營業上の戰士でなければならぬ。

之を軍事に譬へれば、資本家は即ち陸海軍の所有者たる國家で、會社の使用人はは陸海軍の參謀本部並戰士である。其事業の規模の増張や開戦非戦等の大綱は、素より資本家の決定に待たなければならぬけれども、愈々開戦の機には軍略より戰場の駆引其他勝敗の機を決すべき一切の活動は之を會社の參謀本部並戰士たる使用人に託すべきで、そうでなければ決して花々しき戰爭を行ふことの出來ぬのは勿論である。そこで此大任を託したならば國家が軍人に對し相應の生活を保證し最高の名譽と顯要の地位とを與へて優遇に至らざるなきと同様に、會社も其使用人に對して算盤の許す限り大なる俸給を與ふべきである。なせならば會社は國家と異ひ其規模小にして名譽の淵源とな

ることが出来なから其使用人の優遇は金錢を以てする以外に道がないからである。此の方法が完全に實行せらるゝならば會社事業の危険点の大部分は一掃せられ、人材は此方面に集注し、資本の活動も人物の活動も極度に其効果を發揮することが出来やう。既に人の活動、資本活動に於て増加するならば國富の是より増進するは明かなことではないか。(元)

### 實業家は平和の愛好者

男爵 澁澤榮一君

▲平和は萬人の望むところ  
誰か平和を惡むものがあらう。家庭に於ても、社會に於ても、一國家に於ても、これを愛しこれが實現に努めつゝあるのではありません。近來は世界の先覺者によつてこの平和を國際間に於ても實現しやうとして眼望せしき運動をなして、これは實に、實に人類生活の一大進歩にして、これが實現を見たる曉に人類の生活は如何に幸福なるものとなるかを想像し得ると思ふ。

世界の學者、政治家及び先覺者が熱心にこの問題に就いて考究しつゝあることではありませんが、何分にも問題が大きい、それだけ解決が困難であるやうに思ふ。この大問題の解決は我々老人が存命中に見ることを或は望み得られぬかも知れないと思ふ。さらばと言つてこれを放棄してして顧みないほど、我等は人類生活進歩のために不忠實であることができない。

▲戦亂は實業家の最も忌むべきもの  
國際的戰爭を喜ぶことは勿論一國內の騷亂をも喜ぶ實業家が今日も尙ほ決して少なくあるまいと思ふ。かくの如く戦亂に乗じて起つた實業家が多くあると、今一つは戦後に起る經濟界の一時的の好況に乗せんとする皮相な考からであることは勿論である。

惟ふに明治の日本は西南の役、日清、日露の三役を経験して居る。而してこの三役の後は、經濟界に一時的の好況を呈したのも事實である。しかし

好況に次いで來たものが恐るべき經濟界の凶愾であつたことも忘るゝとはできない。十年役後には公債の大暴落を來たし、日清役後は大變調となり漸く順潮に向はんとして日露の大役に遭ひ、その大なる打撃は國債二十餘億を生じ、これに關聯して起るころのものにして數字の上に計上し能はざる損害を經濟界がどれだけ蒙つて居るかは、今日我々の眼前にある悲惨なる生活難の事實に就いても十分に知ることができると思ふ。日清戰爭の結果として得た債金も、經濟界の損傷を償ふ何程にも相當しなかつたのである。また國費五億圓内外の日本に於て、戦費二十億圓しかも産業を廢棄しての二十億圓はあまりに重荷と謂はざるを得ない。尤も一部の人のために戰爭が利益を齎したこともあう、けれども國民經濟の上より見て、かくの如き損害を無視して戰爭を喜ぶ人の如きはこれを眞の實業家として稱することは斷じて出來ない。私は一部の人の間に信じられて居る戰爭に對する考なるものが、全然根柢のない謬論であることを斷言して一日も早くかくの如き迷夢より覺めんことを望む。これ私が平和を尊重し一般の眞實なる實業家が平和を喜ぶ所以である。

▲平和の戰爭に努力せよ  
最後に私は一言を附して置きたいと思ふのは、平和の戰爭即ち實業に對する日本人の誤れる思想に就てである。今日に於ても實業家の間に不正の手段を弄しても尙ほ且つ暴利を貪らんとする者がある。もしも之が國際上の取引になると更に甚だしいのに驚く。これ日本の商品に信用がなく従つて世界の市場に於て不利益の地位に立たねばならぬ所以である。願くば實業家の頭からこんな幼稚な偏狹な思想を除去して、もつと世界的になつて欲しい。而して誠實と努力に依つて世界的平和の戰場に正しき勝利者となられん事を望むのである。

### 關東聯合會

關東商業會議所聯合會は昨年栃木に於て開會せる聯合會の決議に基き本年は八王子に於て開會する都合なるが同會議所の通知によれば來月中旬を期し開會する由なり

### 近市街地との電話連絡

近縣主要地と常市間電話の連絡に關し本年二月二十四日付を以て宇都宮商業會議所より逓信大臣に建議したるが其中連絡去る本月六日より開通せられたるは左の四ヶ所なり

川越町 熊谷町 館林町 笠間町

### 蔬菜品評會

宇都宮市農會の主催に係る蔬菜品評會は來月十四十五日の兩日旭町旭日館に於て開會する由

### マニラ麻組合

宇都宮マニラ麻加工業組合は規約書に調印を了せるを以て去る十日旭日館に總會を開き役員選舉を行へたるが左の通り當選したり

- |             |            |          |
|-------------|------------|----------|
| 組合長 大谷 秀三   | 副組合長 神野 正武 | 會計 辻 田兵衛 |
| 評議員 中村伊三郎 全 | 小山西次郎 全    | 石原金四郎    |
| 全 平山辰之助 全   | 高橋 市藏 全    | 青木 仁平    |
| 全 福武 安吉     |            |          |

### 米作第二回豫想

本年の米作豫想につきては曩に第一回調査として八月二十六日即ち二十日一週間の状況に報告せしが今又九月二十三日即ち秋分の現況に徴するに其豫想高は五千二百六十六万二千二百四十九石にして之を第一回豫想高に比すれば二百六十三万六千六百九十六石即ち四分七厘の減收を示せり是れ第一回豫想報告以後稍々低溫なりしと九月二十二、

二十三日に於ける暴風雨及洪水の害を被りたる地方少なからざりしとに因る然れども之を前年に比すれば九十六萬七千三百六十六石即ち一分八厘半の増収なり	全 四十二年 五、三、三、三
明治三十五年 五、三、三、三	全 四十三年 五、三、三、三
全 三十六年 五、三、三、三	全 四十四年 五、三、三、三
全 三十七年 五、三、三、三	全 四十五年 五、三、三、三
全 三十八年 五、三、三、三	全 四十六年 五、三、三、三
全 三十九年 五、三、三、三	全 四十七年 五、三、三、三
全 四十年 五、三、三、三	全 四十八年 五、三、三、三
全 四十一年 五、三、三、三	全 四十九年 五、三、三、三

### 税金の御厄介

人の知る如く米國は間接税の國とも稱すべく政治の費用は悉く海關税を以て支拂はれて居るされば一般米國人に對しては海關税は利益關係の大なるものはない米國下院に於ける多數派の領袖として民主黨の大統領候補者の一人たりしオ名噴たるアンダーワッド氏は關稅問題に關し左の如き一場の演説を試みられた

負擔重き今日の關稅の下にあつては労働者の如きは一日の業務を終へて家庭に樂しき夢を結ぶまで其身に觸る所のもの何一として關稅のお厄介にならぬものはない其身に着けた毛織の服は七割五分の税金を負擔し靴は一割二分靴下及シャツに七割六分綿シャツは五分其他毛の帽子にせよ手袋にせよ何れも七割八分の税金を拂ひ其手にせる金屬製の辨當箱は四割五分の税を飯と一緒に詰り込んで居る

やがて家に近づけば夫の歸りを待ちうけた妻君は四割二分の税金のかゝつた窓掛けを六割二分の硝子窓から着て夫を手招きして居る夫は七割五分の鉄製の土落して其靴の土を拂ひ五割の靴拭きで其底を拭ひ四割六分の税を負擔せる表戸の錠前を開き六割三分の絨段を敷き詰るたる廊下を踏み更に七割五分の毛織の着物を身に着けた此妻君は亭主

の留守中三割の糸で五割の洋傘を修繕して居たのであつた

此夫妻の家は二割五分の煉瓦と九分の材木と三割二分のペンキとで出来て居た其室内は二割五分の壁紙と三割五分の家具で頗る質素に飾られた夫は二割の石鹼で辨當箱を洗ひ四割五分の鉄製のピンにそれを吊した彼は四割五分の化粧鏡の前で三割五分の護髮膏を以て其髪を梳つた

夫婦の食事は四割五分のストープの上で同じく四割五分の鍋釜を以て調理された食事は至つてつましいものであつた食卓の上には何も五割五分の税金を負へる瀬戸物が並べられたとして四割五分の安い大コップの中に茶をつぎ五割四分の砂糖を入れ四割五分の匙で着にかき廻して飲んだ食後彼は例に依つて讀書に耽つたが其書物には二割五分の海關税がかゝつて居た

愈々睡眠時間が來た彼は四割五分の鐵製の寢床に二割五分の蒲團を敷き四割五分のシートを覆ひ七割五分の毛布と四割五分の綿の入つた上履をかけた終日の勞苦を慰めたのであつた

圖らずも彼は病氣になつた醫者は彼に處方を與へた藥種屋は二割五分の藥劑を用ゐて調劑して呉れた併し藥石其効をく彼は此活社會から永へに三割五分の棺の中の人となつた棺は一割五分の車に積まれて墓地に運ばれた穴掘り足は四割五分の鍬を以て穴を掘つたそして彼は五割の石礮の下に安らかに眠つたのであつた云々

これは米國の事であるが人はお互に死ぬ迄税金のお厄介である事を知らねばならぬ





臨時總會

明治四十五年七月九日午後四時三十分開會全七時
閉會出席並議事要項左の如し
大野七兵衛 吉田源吉郎 今井 佐吉 黒川 徳藏
齋藤 太兵衛 岩田 三郎 村山 芳三郎 福田 喜平
河合 長藏 石田 勇次郎 村山 金平 福田 富次郎
田中 勝次郎 大橋 東太 別矢 辰 武 別本 多 録吉

上野會頭開會を宣し出席並議事を報告し店員表彰
委員會の経過報告に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の

上野會頭開會を宣し出席並議事を報告し店員表彰
委員會の経過報告に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の

一、原邦太郎選舉權者名簿脱漏異議申立の件は
農商務省の意見を確めたる上決定を與ふる
こと
二、同業組合法改正案諮問に對する答申の件は
第三案を採用し甲種組合は役員は組合員に
限らざることを組合内同業者は命令
の定むる所により加入を免除せられたるも
の、外別段の手續を煩わす當然組合員とな
ることを経費の徴収に關し農商務大臣
の認可を経たる場合に限り國稅徴收法の規
定に依ることを得ること、乙種組合は法人
格を與ふるのみならず同一地區内に於て組
合員同一の業務を営む者は加入すべき義務
ありしむることの數件を追加すること、
三、織物の幅員變更に關する諮問の件は尙早と
認むる答申することとし總會に提出すること
斯くて第二、第三を附議する爲め來月七日臨時總
會を招集することに決す

店員職工表彰

Table with 2 columns: Category (e.g., 店員, 職工) and Count (e.g., 百一人, 六十五人). Includes a list of names and their respective years of service.

て功勞表彰を以てあらざるも聊か記念品を贈
呈したるを以て茲に本件を建議したる次第な
り
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の

三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の
三十二番(田中勝次郎君)に附記せられたる店員表彰の

庶務

- 一 收受文書 自第一、五〇九號 二百十六件
一 發送文書 自第一、五〇九號 二十九件
一 雜件 無記號モノ、百七十六件
合計 四百二十一件

- 一 東京專賣支局ヨリ照會ヲ受ケ朽木縣農工銀行株
券及債券ノ價格ヲ調査回答ス
一 逓信大臣及東京逓信管理局長へ本市材木町邊ニ
電報取扱所ヲ開設セラレタキ旨建議ス
一 先帝陛下御不例ニシキ天機奉伺ノ爲メ宮内大臣
宛電報ヲ發ス(七月廿三日)

議長(上野松次郎君)議長指名に異議なきや
然らば後刻指名報告することすべし
三、電報取扱所設置に付建議の件
便局にて公衆電報を取扱ふも上町は宇都宮郵
町邊に之れが設置を建議せんとする所以なり
書記 建議案朗讀
三番(吉田源吉郎君)本案は至極贊成なり讀會を省畧
して速決せられんことを望む
議長(上野松次郎君)原案通り可決確定するに異議な
きは
異議なしと呼ぶ者あり
議長(上野松次郎君)異議なしと認む
是にて議案全部を議了したるを以て閉會する旨
を告ぐ

役員會

明治四十五年七月廿四日午後五時開會全八時三十分
閉會出席並議事要項左の如し
上野松次郎 齋藤 太兵衛 岩田 三郎 福田 喜平
河合 長藏 石田 勇次郎 村山 金平 福田 富次郎
田中 勝次郎 大橋 東太 別矢 辰 武 別本 多 録吉

- 一 一議員選舉權者名簿ヲ縦覽ニ供ス
一 岡山商業會議所へ市内果實商ノ氏名ヲ回答ス
一 市内池上町渡邊千代之助ノ神戸市ニ於ケル果實
ノ價格ヲ調査回答ス
一 宇都宮市役所へ明治四十四年中ノ米價ヲ調査回
答ス

- 一 一議員選舉權者名簿ヲ縦覽ニ供ス
一 岡山商業會議所へ市内果實商ノ氏名ヲ回答ス
一 市内池上町渡邊千代之助ノ神戸市ニ於ケル果實
ノ價格ヲ調査回答ス
一 宇都宮市役所へ明治四十四年中ノ米價ヲ調査回
答ス



Table of commodity prices for various goods like rice, oil, and sugar, with columns for '本年' (this year), '前年' (previous year), and '比較' (comparison).

宇都宮驛發着貨物調査表

明治四十五年上期

△印ハ減

Table showing the volume of goods shipped from Utsunomiya Station, categorized by type of goods.

澁澤家の家訓

第一則 處世接物の綱要
一、常ニ愛國忠君の意を厚くして公ニ奉することを疎外すべからず
一、言忠信を主として行篤敬を重んじ事を處し人ヲ接する必ず其の意を誠にし

Table of commodity prices for various goods like rice, oil, and sugar, with columns for '本年' (this year), '前年' (previous year), and '比較' (comparison).

宇都宮物價

(本年七月及八月)

Table of commodity prices for various goods like rice, oil, and sugar, with columns for '本年' (this year), '前年' (previous year), and '比較' (comparison).

Table of commodity prices for various goods like rice, oil, and sugar, with columns for '本年' (this year), '前年' (previous year), and '比較' (comparison).

Advertisement for 'Sanji' (三笠) featuring a large illustration of a woman and text promoting 'light and convenient Western food' (軽便洋食).



て芳香佳味且つ  
廉價なり江湖の  
諸君奮て御試用  
あらん事を乞ふ



菊の友は原料を  
精撰し學理を應  
用し最も斬新な  
る醸造方法にし

關澤商店陳列館

▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ  
土産物御求は至極御便利であり升  
▲獨立の勸場にて市中無類第一層の廉  
價正札附に致してあり升  
▲流行品は他店に魁くるは申す迄もな  
く花客様にて御承  
知の筈であり升  
▲品が善く  
て直が安  
く有る有  
ゆる品は  
取揃てあ  
りす



宇都宮市川向町  
下野倉庫株式會社

貨物、保管、荷替替取組

電話 一四八番

營業種目

藥品賣藥醫療器械  
理化學器械  
寫真器械附屬一式  
コンデンスマイルク特約店

宇都宮市馬場町  
木村作次郎  
電話 一七番  
日光中鉢石町  
木村支店  
電話 百十一番

●海陸産肥料各種  
●入山石炭各驛手販賣  
●好間石炭各驛一手販賣  
●無煙炭各種大販賣

和紙卸商 宇都宮市千手町  
油屋紙店  
相場直五郎  
電話 四〇番

諸建築木材供給受負  
諸木材廉價販賣  
戸障子  
諸建築工事請負業

業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ肴町通ニ移轉仕候條  
陸續御用命奉願候

宇都宮市日野町  
半都賀屋本材店  
篠崎安平  
電話 一三八番

電力應用

活版印刷  
石版印刷  
寫真版刷  
コロタイプ  
宇都宮市宮都字  
角前察警市宮都宇  
三共社  
電話 三百六十五番

肥料麻苧  
藍眞繩

宇都宮市本郷町廿八番地

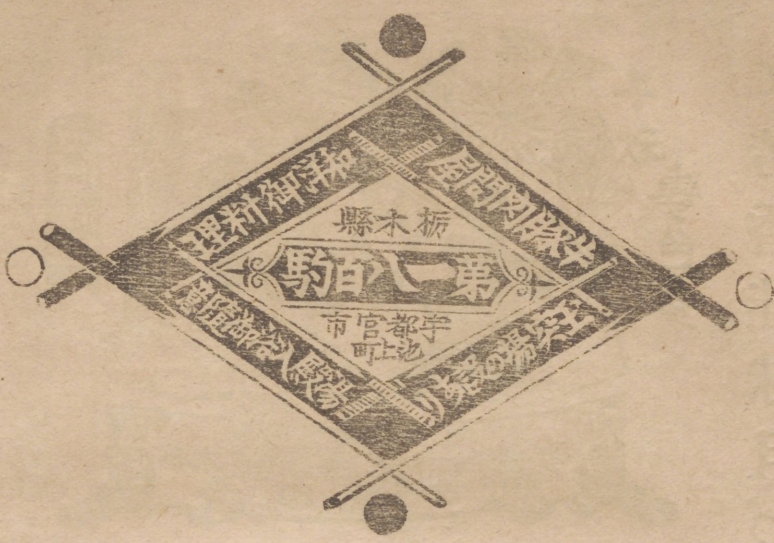
商號久喜屋

福田恒吉

電話 三〇六番  
電略 クキヤ又ハキ



和洋御料理及天麩羅原料  
 は元濱方と特約日々新鮮  
 のものを選み直輸入風味  
 の衛生を最重んと御手  
 迅速は最も第一の特色



番七百六 番二百二 話電

牛肉の原料は有名なる神  
 戸米澤豚肉は海外より特  
 種の者を選み品質精撰價  
 格低廉衛生経済富強兵  
 に欠ざる日常食品の親玉

別當定 別當定  
 段座期 段座期  
 預預預 預預預  
 金金金 金金金  
 宇都宮市大工町五番地  
 電話三五番 電略(ホウ)

寶積寺銀行宇都宮支店

萬商標 拾參金本  
 登録  
 本店 宇都宮市宿郷町三番地  
 電話二〇七番

支店 東京府北千住中組五五番地  
 電話下谷一八八三番

宇野製紙株式會社

大坂硫曹株式會社製品特約賣販  
 關東酸曹株式會社製品特約賣販

各種 內外 肥料 天  
 手塚 豊吉

宇都宮市上河原町  
 電話二三一(番)  
 電略(テッカ)又ハ(テ)